



三原のまちを活性化するためのキーマンは市民!

もっと素晴らしい三原になるために意識と行動を!

あなたは、今の三原に満足していますか？三原がもっと素晴らしいまちになるために、何が必要だと思いますか？それはレジャー施設でもなく、観光施設でもなく、文化施設でもありません。ほんの少しの意識の変化と行動が、まちを変えてゆくのです!

行政はまちづくりの主役?

三原市は「協働のまちづくり指針」を平成20年2月に策定しました。これは住民と企業と行政とが一体となって、まちづくり活動を行なおうという動きなのですが、実はこの動きは全国的な流れでもあるのです。

「協働のまちづくり」とは、行政からの仕事の押しつけではないのか、など、様々なとらえ方があると思いますが、はたして「行政」とはまちづくりのために何を行なう組織なのでしょうか。

行政とは住民あつてのシステム

行政の活動とは、住民の意思に沿って動くのが基本原則です。

先日、三原市でも市長選・市議選が行なわれましたが、これは市民が市政の代表者と市民の意見を反映する代表者を選ぶものです。つまり、市長や市議が機能すれば、市政は運営できるとも言えます。

しかし、その選挙で市民の意思が示されなかった場合や、市民の意識が低かった場合、「市民の願うまちづくり」が行なわれるためには、市長や市議がしっかりと市民から意見の吸い上げを十分に行なうことが必要となります。

住民意識はどうなっているのか

そこで、改めて住民意識について考えてみましょう。

先日の市長選は無投票で現職が当選しました。市議選では、定数32名のところ、34名が立候補し、定数の議員が選出されました。

注目すべきは、全市を選挙区として行なわれ

る初めての選挙であるにもかかわらず、投票率が7.5ポイントも下がったことです(前回は72.23%、今回は64.66%)。なぜ、このようなことが起こったのでしょうか?

住民意識の低下?

新三原市として1市3町が合併して4年が経過し、それに対する評価としての選挙でもあったかもしれませんし、今後の展望に対する選挙であったかもしれません。

原因としては以下のように考えます。

- ・市長選は現職のみが立候補し、無投票となり、争点がなかった
- ・市長選、市議選ともに立候補者の政策がよくわからなかった
- ・市議選は、競争率の低さが立候補者と有権者にとって、緊張感を生む要素にならなかった

しかし、一番の原因は、市民が「自分たちのまちは自分たちでつくる」という思いが薄いからだとは思いませんか。

よく聞く言葉としては「三原にはなにもないけえ」「三原じゃけえ、だめじゃろ」というものがあります。また「だれかがやるじゃろ」「わしらじゃ無理じゃ」と、最初からあきらめていることもあります。

本当にそうなのでしょうか。私たちには何もできないのでしょうか。私たちには何もできないのでしょうか。

三原はいいまち!?

三原は陸海空の交通の便もよく、都市機能として不足しているものはあまりありません。天候も温暖で自然環境も豊かだと言えます。新三原市になり、小早川隆景を中心として歴史的な地域のつながりも、歴史的遺産もたくさんあります。伝統芸能も、地域文化も盛んで、特に夏の「やっさ祭り」と冬の「神明市」は全国に誇れるものです。また、財政状況、少子高齢化や教育、雇用や産業なども全国的に見れば平均的

で、特に見劣りするものではありません。

これだけの環境がそろっているのに、当の市民は「なにもない」「だめなまち」と思っているのです。

住民意識がまちを再生させた!

北海道の夕張市については、皆さんご存知でしょう。北海道の中心部に位置し、かつては「炭鉱のまち」として栄え、人口は11万を超えていました。しかし、石炭産業の衰退により人口は激減し、現在は約1万人であり、2007年には日本で初めて地方自治体として財政再建団体に指定され、事実上破綻しました。

夕張市の破綻は、従来型産業(炭鉱)から観光産業への転換に失敗したのですが、それを「行政主導」で行なったことが失敗の原因だったのです。

しかし、現在の夕張市はその逆境を「再生の機会」とし、数々の再建案を実施し、行政や住民が一体となり、まちの再生に乗り出しています。

夕張市では、住民と行政が一体となり、一生懸命に「夕張再生」へと取り組んでいます。行政だけが取り組んでいるのではないのです。行政の施策に対して、住民は悪いことは悪い、良いことは良いと、しっかりと意見を述べ、協働しているのです。

住民意識がまちを変える

まちの活気とは、住民が変えるものです。住民が「まちを元気にしたい」と思い、行動すれば、必ずまちは元気になります。我がまち「三原」を元気にするためには、今一番大切なことは、住民自身が「まちを元気にしたい」という思いをもつことであり、行動を起こすことなのです。

そのために、小さなことでもなにか行動を起こしてみることが、今の三原に必要なことではないでしょうか。

2面に市民参加型まちづくりの具体例を掲載!

私たちにはどんな行動が必要なのか!?